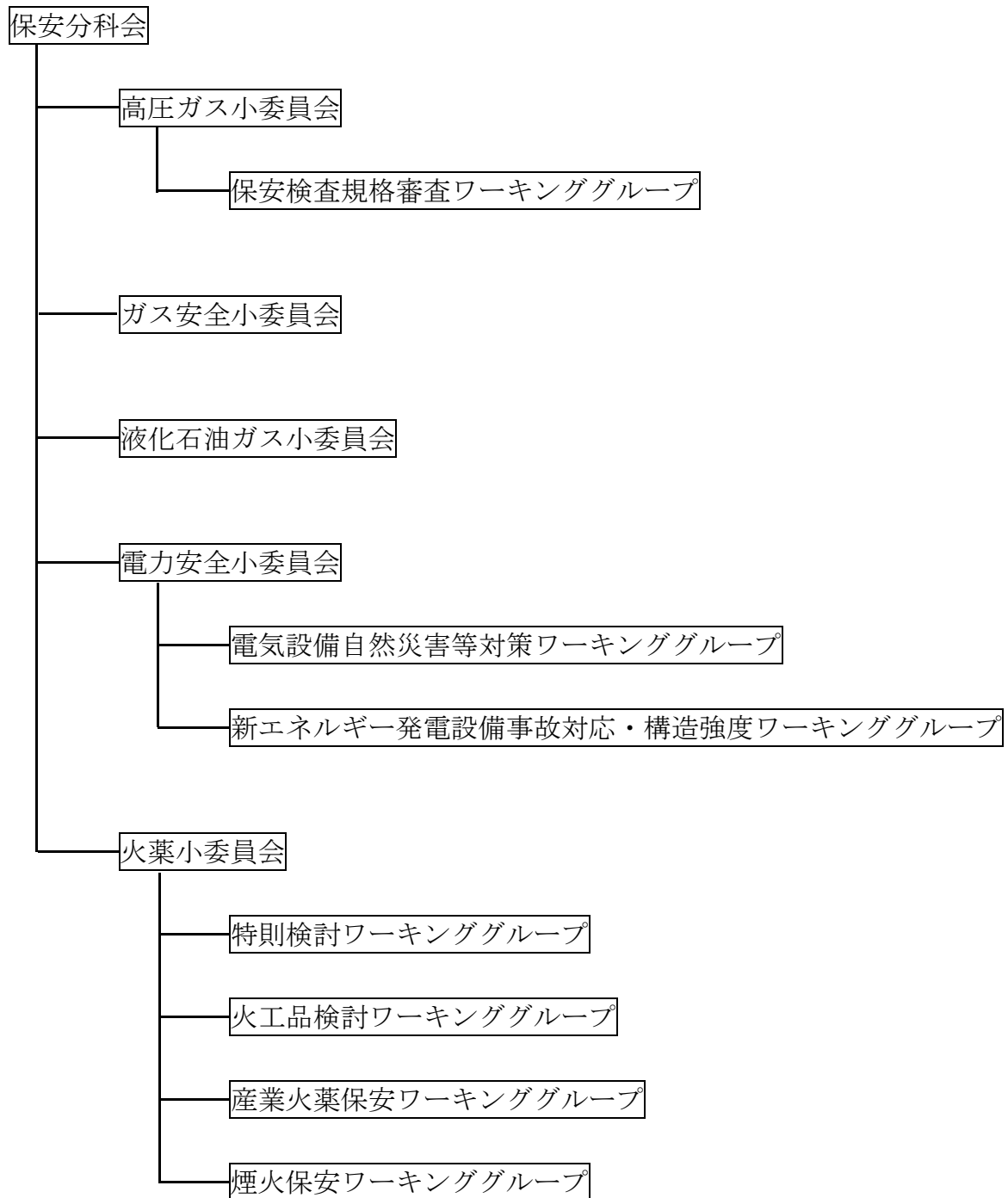


前回の保安分科会 (2014. 3. 20) 以降の各小委員会における活動状況

(各小委員会における審議事項を中心にとりまとめた。)

【保安分科会の構成】



高圧ガス小委員会の主な動き

1. 今年度の開催状況

小委員会名	開催日	主な議題
第6回高圧ガス小委員会	H26.10. 1	・保安分科会報告書及び三省庁連絡会議報告書のフォローアップ 等
第7回高圧ガス小委員会	H27. 3.12	・新たな時代の要請に対応した規制の見直し状況（水素・燃料電池自動車関係等） ・事故情報の収集・分析の強化に向けた検討状況と今後の進め方 ・高圧ガス保安法の現状と課題について 等

2. 主な審議事項

(1) 10月開催小委員会

① 事故情報の共有・分析強化

事故情報に関し、過去類似事案を考慮した幾つかの類型に区分し、事故の拡大・再発防止をより着実に図るための方策を取り入れていく方向で、より精査することとなった。

② 認定事業者に対する「リスクアセスメント」や「人材育成」等の強化

保安管理システムが優れているとの認定を受ける事業者の新規の認定や更新時の審査において、リスクアセスメントや人材育成の徹底等を確認することにより、重大事故の防止を図る旨を提案し、了承された。

(2) 3月開催小委員会

① 新たな時代の要請に対応した規制見直しの状況についてとして、水素・燃料自動車関係につき、「規制改革実施計画(H25.6)」や、「規制再点検に係る工程表(H22.12)」等に掲げられている項目についての対応方針案を諮り、了承された。

② また、従来用いられていたものの代替物を用いたエアコン用冷媒の取扱いを審議し、その対応方針案につき、了承された。

③ 高圧ガス保安行政に関し、自主保安の向上や新たな技術の制度的円滑化といった視点からの現状と課題に関してフリーディスカッションを行った。

ガス安全小委員会の主な動き

1. 今年度の開催状況

小委員会名	開催日	主な議題
第4回ガス安全小委員会	H26. 6. 9	・南海トラフ巨大地震、首都直下型地震を踏まえた災害対策 ・経年管対策の加速化 ・ガスシステム改革の保安規則
第5回ガス安全小委員会	H26. 6.25	・ガスシステム改革を受けた保安規制のあり方 ・南海トラフ巨大地震、首都直下型地震を踏まえた災害対策
第6回ガス安全小委員会	H26. 7.14	・ガス事業法における保安規制のあり方
第7回ガス安全小委員会	H26. 9.12	・ガス事業法における保安規制のあり方
第8回ガス安全小委員会	H26.11.10	・都市ガス事業における自主保安等 ・熱供給事業法における保安規制のあり方
第9回ガス安全小委員会	H26.12.10	・ガスシステム改革等を踏まえた保安規制のあり方

2. 主な審議事項

(1) 6月開催小委員会

- ① 都市ガス事業におけるこれまでの地震・津波対策を踏まえ、南海トラフ巨大地震、首都直下型地震を踏まえた設備対策及び復旧迅速化対策の評価と今後の講じるべき対応策に係る審議を行った。
- ② 学校や病院など保安上重要な建物の敷地内にある経年管（灯外内管）に関して、民間建物及び公的建物に係る不同意案件に対する周知・公表の取扱いにつき審議し、提示ができるタイミングで報告するというところで了承された。
- ③ ガスシステム改革に係る保安に関する検討を開始し、検討にあたっての全般的な議論を行うとともに、論点提示（(1)技術基準適合維持義務、(2)内管漏えい検査のあり方、(3)簡易ガス事業に係る保安のあり方、(4)消費段階におけるガス事業法と液化石油ガス法の保安規制のあり方）を行った。

(2) 7月以降の小委員会

南海トラフ巨大地震、首都直下型地震を踏まえた設備対策及び復旧迅速化対策の評価と今後の講じるべき対応策に係る中間とりまとめを7月に行った。また、ガスシステム改革の保安に係る審議を本格化し、12月にとりまとめ案を小委員会として了承した。

液化石油ガス小委員会の主な動き

1. 今年度の開催状況

小委員会名	開催日	主な議題
第3回液化石油ガス小委員会	H26. 6.11	・ガスシステム改革の保安規制
第4回液化石油ガス小委員会	H26. 6.26	・ガス事業法及び液化石油ガス法の保安規制のあり方
第5回液化石油ガス小委員会	H27. 3.11	・平成27年度保安対策指針の策定

2. 主な審議事項等

(1) 6月開催小委員会

ガスシステム改革の議論は、一義的には、都市ガス（ガス事業法）における議論であるが、同じガス体エネルギーとして共通する部分もあることから、本小委員会でも議論を行った。

(2) 3月開催小委員会

LPガス販売事業者等が平成27年度に重点的に講ずべき事故対策・保安対策等の活動方針である液化石油ガス販売事業者等保安対策指針（案）を審議し、了承された。また、ガス安全小委員会の取りまとめ結果を紹介するとともに、液化石油ガス法等の保安規制についての検討結果を報告した。

液化石油ガス法とガス事業法などの既存規制の見直し（規制・制度間の整合化）、性能規定化などを今後検討するなどの「規制の整合化等に向けた検討について（案）」について審議し、了承された。

電力安全小委員会の主な動き

1. 今年度の開催状況

小委員会名	開催日	主な議題
第6回電力安全小委員会	H26. 7.17	・電気設備自然災害等対策 WG 中間報告書 ・発電用風力設備に係る落雷対策
第7回電力安全小委員会	H26.11.17	・電力システム改革を踏まえた電気保安規制のあり方
第8回電力安全小委員会	H26.12.22	・安全管理検査制度の見直しについて（検討状況） ・今夏の火力発電所の計画外停止（故障・トラブル）について ・技術基準に整合する民間規格等の取り入れについて
第9回電力安全小委員会	H27. 3.20	・電気保安の現状について ・今後の電気保安のあり方について

2. 主な審議事項等

（1）7月開催小委員会

南海トラフ巨大地震等への電気設備の耐性評価等をまとめた電気設備自然災害等対策WGの中間報告書を審議。また、発電用風力設備の落雷対策をまとめた新エネルギー発電設備事故対応・構造強度WGの報告書を審議。いずれも了承された。

（2）11月開催小委員会

火力発電設備における溶接安全管理審査の合理化及び風力発電設備を定期安全管理審査制度の対象に追加することについて審議。方向性について概ね了承された。

（3）12月開催小委員会

安全管理審査制度の見直しについて、残された論点を審議。電気事業法の改正の方向性について了承された。また、今夏の火力発電所の計画外停止の状況や JIS 等の民間規格の技術基準への迅速な取り入れの方向性について報告を行った。

（4）3月開催小委員会

電気保安規制の現状と課題を分析し、今後の電気保安規制のあり方の方向性について審議した。

火薬小委員会の主な動き

1. 今年度の開催状況

小委員会名	開催日	主な議題
第3回火薬小委員会	H26.11.26	・都道府県から指定都市への事務・権限の移譲等
第4回火薬小委員会	H27. 3.18	・実包火薬庫の技術基準の見直し ・製造の技術基準に関する特則対象範囲の見直し ・火薬類の技術基準等の見直し 等

2. 主な審議事項

(1) 11月開催小委

火薬類取締法の指定都市への権限移譲について、以下の方向性を提案し、了承された。

① 移譲対象

道府県・指定都市のアンケート結果において、検査機関の指定事務や試験・免状の交付事務については、申請者の負担増加、指定都市と道府県の関係整理の必要性、事務負担の増加、受験者の混乱等の指摘があった。このため、移譲対象から、検査機関の指定事務及び試験・免状交付事務を除く方向で了承された。

② 移譲時期

上記アンケート結果では、人員確保、税制措置等の体制整備、専門職員の要請等道府県と指定都市の連携体制構築及び事務・ノウハウの引継ぎに、最長で平成 29 年 4 月まで要するとの回答であった。従って、移譲時期は、平成 29 年 4 月 1 日とする方向で了承された。

(2) 3月開催小委員会

① 実包火薬庫の技術基準の見直し（審議）

実包火薬庫の安全性の確認実験をもとに実包火薬庫の貯蔵量に応じた保安距離の見直し等を実施する改正を行うことを審議し、了承された。

② 製造の技術基準に関する特則対象範囲の見直し（審議）

特則を認めることができる技術基準の項目を拡大するため、規則の改正を行うことを審議し、了承された。

③ 平成 26 年事故情報、自然災害への対策等について（報告）

平成 26 年の事故情報、自然災害への対策、最近実施した主な施策、平成 27 年度火薬類保安対策事業について報告した。

④ 火薬類の技術基準の見直し（討議）

火薬類取締法の技術基準等の見直しの考え方について討議した。